

陶磁器釉薬技術研究会

支援先

県内陶磁器製造企業等

【目的】

笠間焼産地では、釉薬に関する理論を学ぶ機会が少ないのが現状です。そのため、学ぶ意欲はありながらも、釉薬に関する基礎知識の不足を感じている若手陶芸家も多く、短時間・短期間で釉薬の基礎的な理論を学ぶ場を設けてほしいという要望があります。その様な声に応えるべく、本研究会を立ち上げ、釉薬の開発や改良に有効な基礎知識を学んで頂く勉強会を開催することと致しました。

【内容】

表1の通り、平成27年度は計6回の勉強会を開催しました。会員12名からは「これまでと違った視点で釉薬を見ることができるようになった」、「自分の使っている釉薬の問題点を整理し、より良い配合を目指したい」等、今後の新規釉薬開発や品質安定化に繋がることを期待できる感想が多く寄せられました。

表1 勉強会日程とテーマ

| 回 | 日 程 | テ ー マ |
|---|----------|----------------------------|
| 1 | 6/15 (月) | 釉薬調合の基本, 釉薬原料の分類と役割, 三角座標 |
| 2 | 7/ 6 (月) | 釉薬を学ぶために必要な化学基礎知識 |
| 3 | 8/ 3 (月) | ゼーゲル式・ゼーゲル座標の見方・考え方 |
| 4 | 8/24 (月) | ゼーゲル計算1 (原料配合比からゼーゲル式を算出) |
| 5 | 9/ 3 (木) | ゼーゲル計算2 (ゼーゲル式から原料配合比を算出) |
| 6 | 9/15 (火) | 素地物性と試験方法, 釉薬の欠陥 (原因と対処方法) |



図1 勉強会の様子 (左: 三角座標の説明, 右: 素地物性試験の説明)

【今後の予定】

平成28年4月、窯業指導所は笠間陶芸大学校に移行しますが、来年度も勉強会を開催する予定です。また、本研究会の内容よりも本格的に陶磁器用釉薬の知識、技術を習得したい方を対象として研究開発力を養うための研修も準備を進めています。釉薬に関して悩み事のある方は、まずはお気軽にご相談下さい。

基礎となった事業

平成27年度 オンリーワン技術開発支援事業 (研究会)

現在の担当部門

材料技術部門

部 門 長

寺門 秀人

TEL:0296-72-0316

主 任

吉田 博和

技 師

吉田 彩美